

今までありがとうございました。

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

南郷中学校

令和2年3月2日(第34号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 突然の要請に驚きましたが、春休みまでの学校について確認します。 ◆◆

今回は日本をあげてウイルス感染の蔓延を防ぐ思い切った対策が取られました。こうなった以上は日本国民一人ひとりが、自覚をもって、その目的が果たされるよう行動していくしかありません。

1・2年生の皆さんには、急遽先生方から授業に代わる自習教材や、自習範囲が伝えられたと思います。学校で授業を受けるのとは違い、一人で自主教材を規則正しくやり続けるのは大変難しいこととっています。休憩やTV・映画視聴など、リフレッシュ時間を十分挟んで構いませんから、完全にTVゲームだけに毎日没頭してしまうような、人生の道を誤ってしまうようなきっかけにならないよう、自分自身を律しながら生活して下さい。

この期間、平日は教職員が学校に詰めています。学校に伝えたいことや質問等がある場合は電話連絡を入れてください。

1. 生徒の登校日 修了式が行えるかどうかは、今後の国内情勢判断で決まります。
現時点では登校日は設けていません。
2. 生徒の生活
 - ①不要不急の外出・人の集まる場所への外出は避け、基本的に自宅で過ごす。
(濃厚接触を避けるため、友人同士で集まって遊ぶことは控えてください。)
 - ②自宅においても、咳エチケットやうがい・手洗い等をしっかり行う
 - ③普段から朝の検温を実施。気になる症状がある場合は学校に報告する。
 - ④学校に用事の場合は、事前に連絡を入れてから登校する。
 - ⑤習いごとや外食利用等の制限はしないが、その際はマスク等罹患対策をする
 - ⑥部活動は休業期間中実施しません
3. 休業期間中の学校からの連絡方法
基本的には安心メールにてお知らせします。また、学校HPトップ画面で確認できるようにする予定です。
4. 学校への連絡
気になる症状の連絡等は、平日の通常勤務時間に電話でお伝えください。

◆◆ 3年生にとっては、やるせない事態となってしまいました。 ◆◆

27日の夕方まで、3年生のためにやってあげられる卒業式のやり方を一生懸命考えていたのですが、全ての努力が、全部吹っ飛んでしまいました。心では良い卒業式にしてあげたいという思いで一杯なのですが、そういった考えを許してくれるような隙間が無い事態になってしまいました。

今は、南郷中学校卒業式が、集団感染の引き金に絶対になってはいけません。ご家族を含めて新型コロナウイルスによる肺炎で生命の危機にさらされることが無いように、式を組み立てるしかなくなってしまいました。式の概要は以下のようになります。

1・2年生の皆様にとっても3年生の熱い情熱を受け取り引き継いでいく大切な儀式である卒業式だということも分かっています。それが以下の簡単な式にするしか無かったことを心より詫びたいと思います。

1. 実施日 3月11日(水) 10時開式
2. 参加者 3学年生徒 南郷中学校職員
3. 式の概要
 - ①開式の言葉
 - ②卒業証書授与
 - ③学校長の言葉
 - ④別れの言葉
 - ⑤校歌斉唱(マスク着用のまま)
 - ⑥閉式の言葉
 - ⑦卒業生退場
4. 参加資格 普段から朝の検温を実施。体調良好で当日発熱が無いこと。
咳が出る場合は、出席を断念して頂きます。
くれぐれも体調の不調を隠しての出席は無いようご指導願います。
式の前に健康チェックを行う予定です。
5. 生徒座席は十分な距離を取って配置いたします。※飛沫感染防止距離
6. 式後、各教室にてクラスごとに最後の学活にて散会します。

◆◆ これが皆さんへの最後の学校便りとなってしまいました。 ◆◆

27日、第4代校長 様よりお電話を頂きました。去年の夏、退職された校長先生方との食事会でお目にかかって、南郷中学校の卒業式の素晴らしさ、とりわけ校歌を歌う様子は、鳥肌ものですとお話し

ましたところ、是非見てみたいとおっしゃったので、今回の卒業式案内を送らせていただきました。私自身、自信を持ってきていただきたく、楽しみにしていたのです。佐藤校長先生は、楽しみにしていたけれど、出席は諦めますとお伝え下さいました。

私は60歳になりました。つまり定年を迎えました。今回の卒業式は私にとっても南郷中2年間の校長としての最後の卒業式です。町長様はじめたくさんのご来賓の方々に見て頂ける集大成と捉えておりました。一番は3年生のみんなのため、(そして少しは私のけじめのためにも)例年のように、完全な形で実施して、是非皆さんに見て頂きたいという強い思いは誰にも負けないくらいだと思っています。

でも悲しいかな、私は南郷中学校の運営の責任を負っています。今回の事態は、突き詰めて言えば、「人命」と「思い」のどっちが重たいかを問われました。「そんな問題出さないでほしい」と言えれば良いのですが、日本中の校長という職にある皆が、答えを絶対出すことを求められています。

申し訳ないという思いはぬぐい消すことはできません。3年生が気の毒で仕方がないことも事実です。でも結論は、先に紹介した形で実施するしかないのです。

今3年生の皆さんにこの決断が理解されるとは思いません。でもいつか振り返ったとき、校長は本当に3年生に対して、ただの無理解者であったのか、考えてみてくれると良いなと思っています。

ここでは、こんな事態になる前に私が3年生に伝えようと思っていた式辞の原稿を載せさせていただきます。

・・・さて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。私から、最後のメッセージを伝えたいと思います。

皆さんは、卒業という言葉は深く考えてみたことがあるでしょうか。今日は何からの卒業なのでしょう。文集にも書きましたが、校歌の例で言えば、南郷中学校という一つの優れた文化の中で、安心して歌うことが出来た環境からの卒業でもあります。皆さんは進学先の新しい環境の中で、個性・言い換えれば自分自身を發揮できるかが問われるのです。例えばオピニオンリーダーとしての自覚を持って、周囲の人を巻き込んで校歌を歌う力があるかが問われます。卒業とは、校歌の例に限らず、南郷中学校で培った力が本物かどうかを問われる、あなた自身の実力試験と言えるのです。

社会に出てみると、南郷中で常識だったことが、なかなか通用しない場面に出くわすことも多いでしょう。南郷中で培った常識感の方が明らかに優れていると思う場面があっても、それが世の中の常識ではないことに歯がゆさを覚える場面もあることでしょう。大人になるということは、素晴らしいことですが、同時に自分の行動に責任をとらなければならないという厳しさも待っているのです。そんな世間の中で、皆さんの中から、すてきなリーダーがさらに出てくることを期待しています。

また、卒業をもう一つの意味で捉えたとき、こんな素晴らしいチャンスは無駄にしてはいけないことも是非気がついて下さい。

新しい沢山の人との出会いが、すぐ始まろうとしています。新しい世界の中で、変えてみたい自分があれば、勇気を持ってチャレンジしてみましょ。卒業すると言うことは、さらに素敵な人となるため、「前の失敗の多かった自分から、生まれ変わった自分がある」と言えるようになる、大切なきっかけをもらおうということなのです。変わった方がいいとか、ここは直していった方がもっといい自分になれると気づいている人も多いと思います。この卒業を機に、積極的に自己改善を図っていきましょう。・・・

・・・伝えたかった言葉を紹介してしまいましたので、当日は別の話を簡単に伝えることになると思います。どんな形の卒業式でも、何かしら記憶に残る式になるようにしましょ。だからこそ、式当日まで感染しないようしっかり用心して暮らしていきましょう。

◆◆ 3月1日(日)は、171利用訓練です。生徒のみなさんも参加してみてください。 ◆◆

これも学習の一環と考えることが出来ます。実学として、171利用訓練に参加してみてください。

◆◆ 本号で道標ない旅の最終号となります。今までご愛読ありがとうございました。 ◆◆

まさに、表題の通り、道標ない旅となってしまいましたね。自己判断できる能力が問われています！皆さんのますますの成長と活躍を心から祈念致します。